

褥瘡対策委員会の「褥瘡発生ゼロ」への取り組み

樽見 桂子¹⁾ 菊池 美智子¹⁾ 河端 裕美¹⁾ 美原 盤²⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 看護部

2) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 院長

[はじめに] 当院褥瘡対策委員会は褥瘡発生ゼロを目的とした取り組みを開始し、取り組み開始前 1.9%であった褥瘡発生率は取り組み後 0.6%まで減少した。この要因について報告する。

[取り組み] 平成 27 年、褥瘡に関する知識や技術に優れている看護師を中心に褥瘡対策チームに構成、さらに平成 30 年には褥瘡委員会皮膚・排泄ケア認定看護師を配置し、褥瘡回診時に個々の患者に適したポジショニング方法、スキンケア方法を病棟看護師に直接指導した。また、皮膚トラブル発生時には直ぐにコンサルテーションができる体制を構築した。褥瘡発生時には必ずカンファレンスを実施したことにより病棟看護師のアセスメント力の向上に繋がった。さらに、病棟毎に褥瘡発生率の目標値を設定、毎月の発生率や発生要因のデータを可視化することで病棟管理者も含めスタッフの意識改革に繋がった。

[結果] 褥瘡対策に関する体制整備がアウトカムの向上に結びついた。